



ばんクリニック

BAN CLINIC



ばん先生と



## “気管支喘息”

について知ろう。

鈴鹿市のみなさん、こんにちは。

さて今月号では前回に引き続き喘息の治療薬についてのお話をさせていただきます。今回みなさんに知って頂きたいのは吸入ステロイド薬（以下ICS）です。ICSは喘息治療の主役です。ディズニーのショーのど真ん中でミッキーマウスのように一番スポットライトを浴びるべき存在です。「ICSなくして喘息コントロールなし」と断言しても良いくらい、喘息の長期管理には必須の治療薬です（ただ、3割くらいは反応性が不良です。そういう意味では万人受けするような主役ではありません。どれだけ好感度が高い女優さんでも、一部のアンチは存在するものです）。ステロイドは炎症を抑えるお薬です。そのステロイドの粒子を吸入し気管、気管支の粘膜にぶつけることによって気管、気管支に慢性的に生じている炎症を抑えてあげようという治療法です。内服薬や点滴とは異なり、肺の中だけに作用するので、全身性の副作用はほぼ皆無です。妊婦さんでも吸って頂けるような非常に安全なお薬なのです。ただICSの粒子径は非常に小さく（だいたい $1\sim 5\mu\text{m}$  ( $1\mu\text{m}=1/1000\text{mm}$ ))、吸入する30～40%は肺まで到達せず、口腔内や上気道に沈着してしまうので、吸った後にうがいをして頂かないと局所的な副作用（口の中にかびが生える、喉の違和感など）が出てしまうことがあります。いかに早く、いかに副作用を出さずに最小量のICSで喘息症状を0にするかが呼吸器内科医としての腕の見せどころなのです。